

静岡市建設業担い手育成産官学特別会議
(建設業の次の時代を担う高校生が、就職における期待と不安を発表)



日時 平成 28 年 5 月 18 日(水)
会場 静岡市民文化会館 3階大会議室
出席 建設業協会会長・副会長、市幹部職員
発表者 県立科学技術高校 都市基盤工学科 2名
県立科学技術高校 建築デザイン科 2名
県立静岡農業高校 環境科学科 3名

1 開催目的

高卒就業者の 50%が3年以内に離職するという建設業界の異常事態を受け、離職率を低減させることが建設業界全体の課題となっております。そこで静岡市は、建設業を志す高校生達が抱える業界に対する期待や不安を、建設業界と市幹部職員にむけて発表する「静岡市建設業担い手育成産官学特別会議」を開催しました。この会議によって、長時間労働の改善や週休 2 日の実現など、他産業と比べ求人する上で劣勢な部分の改善につなげ、高校卒就業者の離職率の低下に結びつけていきたいと考えております。

2 発表内容

事前に技術系高校で実施しました「建設業に就職する不安と期待」をテーマにしたディスカッションの内容を、高校生の代表が建設業界と市幹部職員に打ち明けました。願書を提出する高校生とすると、言い難い内容ばかりでしたが、高校生の勇気を振り絞った発表を、担い手育成の為に改革心を持った業界と市が聞き入れ、今後の事業の参考とさせてもらいました。

3 発表されたテーマ

- ◇建設業の就業規則の改善（週休 2 日、長時間労働、低賃金、女子の就業環境など）
- ◇建築職の高卒求人が無く公務員の募集もない現状（県内に進学する大学もない現状）
- ◇女子採用の対応改善（寿退社、育児休暇、急な早退、セクハラ心配など）
- ◇公務員試験の時期と補欠合格（不合格後の民間採用が難しい、欠員を有効に採用） など

<情報> 会議の詳細は「特別会議報告書」を参考にしてください 報告書のダウンロード

<情報> この取り組みについて月刊建設特集記事に掲載されました。 記事のダウンロード